

【高血圧～降圧薬編～】

降圧薬は下記の表に示す薬や配合剤などがあります。

ここでは各薬の代表的な作用と副作用の例など薬の一部をご紹介します。

名称	作用	副作用の例など
Ca拮抗薬	細胞膜上のCaチャンネルに結合し細胞内へのCaイオン流入を阻害する。心筋へのCa流入を阻害して心収縮力を低下させ、心拍出量を低下させる。血管平滑筋へのCa流入を阻害して血管平滑筋を弛緩させ、末梢血管抵抗を減少させる。	【ジヒドロピリジン(DHP)系】 低血圧、動悸、頭痛、ほてり感、顔面紅潮、浮腫、歯肉増生、便秘 など
アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)	アンジオテンシンⅡのAT <sub>1</sub> 受容体に特異的に結合することでアンジオテンシンⅡによる強力な血管収縮、体液貯留、交感神経活性を抑制する。	高K血症、血管浮腫 など
アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬	アンジオテンシンⅡの合成に関わるACEを阻害することによりアンジオテンシンⅡの産生を抑制する。 カリクレイン-キニン-プロスタグランジン系を増強する作用もある。	血管浮腫、空咳、高K血症 など
直接的レニン阻害薬	レニンを直接阻害し、レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系を抑制する。	血管浮腫、アナフィラキシー、高K血症、腎機能障害 など
利尿薬	腎臓でのNa再吸収を抑制し、循環血漿量を減少させる。 サイアザイド系利尿薬には、長期的使用で末梢血管抵抗を低下させる作用もある。	代謝系では高尿酸血症、高中性脂肪血症、耐糖能低下 など 電解質異常では、低Na血症、低K血症、低マグネシウム血症 など
β遮断薬	心筋β <sub>1</sub> 受容体遮断による心拍数減少、心収縮力抑制による心拍出量の低下、腎臓のレニン産生の抑制、中枢での交感神経抑制作用などがある。	徐脈、心不全の憎悪 など
α遮断薬	交感神経末端の平滑筋側α <sub>1</sub> 受容体を選択的に遮断し、末梢血管を拡張する。	初回投与現象として起立性低血圧によるめまい、動悸、失神
MR拮抗薬	腎臓の遠位尿細管および接合集合管のミネ	高K血症 など

	ラルコルチコイド受容体(MR)に作用して K の喪失なく Na 排泄を促進する。	スピロラク톤では女性化乳房・陰萎、月経痛など
中枢性交感神経抑制薬	<p>●メチルドパ 降圧作用は、代謝物である<math>\alpha</math>-メチルノルアドレナリンによる中枢の<math>\alpha</math>-アドレナリン作働性受容体の刺激、偽神経伝達、血漿レニン活性の低下等に由来するものといわれている。</p> <p>●クロニジン、グアナベンズ 延髄吻側腹外領域の<math>\alpha_2</math> 受容体刺激により交感神経活動を抑制する。</p>	<p>●メチルドパ 立ちくらみ など</p> <p>●クロニジン、グアナベンズ 眠気、口渇、倦怠感、陰萎 など</p>
	ヒドララジン →直接血管平滑筋に作用して血管を拡張させる。	狭心症、頭痛、動悸、頻脈、浮腫 など

【参考文献】

- 日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会, 高血圧ガイドライン 2019, 2019:76-93, 253-275
- 岡庭豊, 病気がみえる vol.2 循環器 第 5 版, 株式会社メディックメディア, 2021:99-103, 376-396
- 笠原祐二, レニン阻害剤, 日大医学雑, 2014; 73 (1): 14-16 [ja \(jst.go.jp\)](http://jst.go.jp)
- 鶴原製薬株式会社, メチルドパ錠 (ツルハラ) 125、メチルドパ錠 (ツルハラ) 250 添付文書 [00026160.pdf \(japic.or.jp\)](http://00026160.pdf)